

一般会計

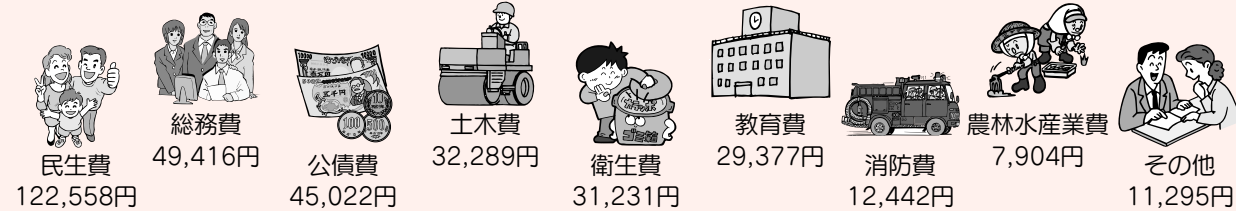
市の基本的な経費を取り扱う会計

市の財政を1人当たりで換算すると…

市民の皆さん1人当たりが負担したお金 126,451円



市民の皆さん1人当たりに使われたお金 341,533円



市税（市民の皆さんが負担したお金）の内訳は、固定資産税 85 億 5,479 万円、市民税 82 億 3,390 万円、市たばこ税 10 億 1,500 万円、都市計画税 5 億 4,005 万円、軽自動車税 2 億 6,225 万円です。

市民の皆さん1人当たりで換算すると126,451円の負担となります。また、歳出総額から換算すると1人当たりに使われた金額は341,533円となります。

※人口 147,140 人（外国籍のかたを含む・平成 24 年 3 月 31 日現在）で計算

特別会計

一般会計と区別して経理される会計

会計	歳入	歳出
国民健康保険	163億 445万円	148億2,535万円
後期高齢者医療	19億7,903万円	19億7,652万円
国済寺土地地区画整理	7億5,751万円	7億1,413万円
岡中央土地地区画整理	1億 774万円	5,075万円
武川中央土地地区画整理	3,307万円	2,607万円
小前田駅北西部土地地区画整理	8,854万円	6,839万円
農業集落排水	7億9,441万円	7億5,983万円

企業会計

独立採算を原則として経営を行う事業の会計

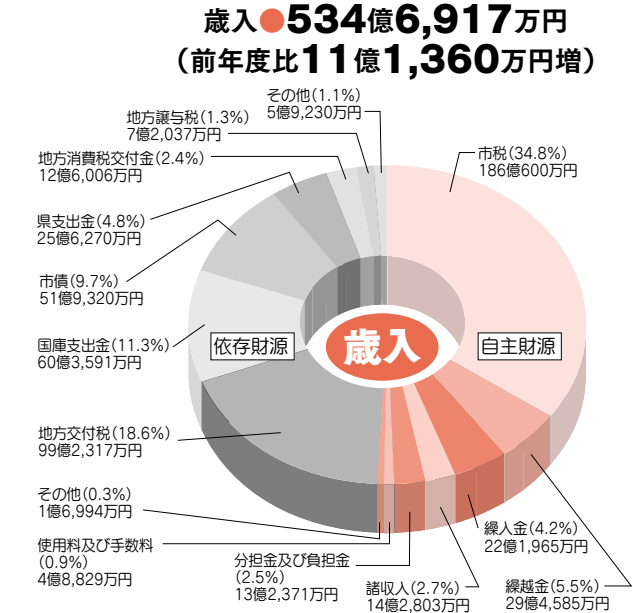
水道事業（税込み）			下水道事業（税込み）		
区分	収入	支出	区分	収入	支出
収益的収支	25億5,954万円	20億9,256万円	収益的収支	17億 206万円	16億9,851万円
資本的収支	28億9,488万円	23億6,334万円	資本的収支*	13億 231万円	20億2,184万円

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額については、下水道事業内の内部留保資金などで賅っています。

歳入のポイント

国の経済政策や景気動向により、国庫支出金および地方特例交付金が減少したものの、公債費に係る財政需要額の増加を受けて地方交付税が大幅な増額となりました。本市の歳入の特徴として、依存財源の比率が高いことが挙げられます。効率的かつ安定的な財政運営を行うため、自主財源の確保が課題となっています。

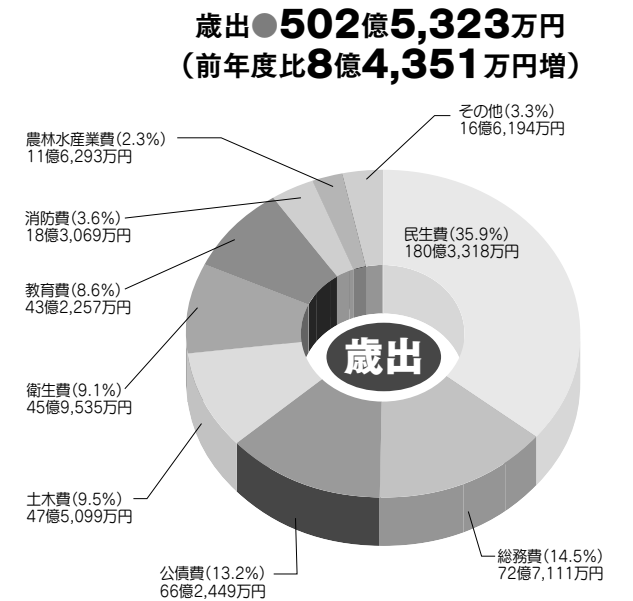
自主財源：市税や使用料など市が自主的に集めることのできる財源
依存財源：地方交付税や国・県の補助金など、国や県などから交付される財源



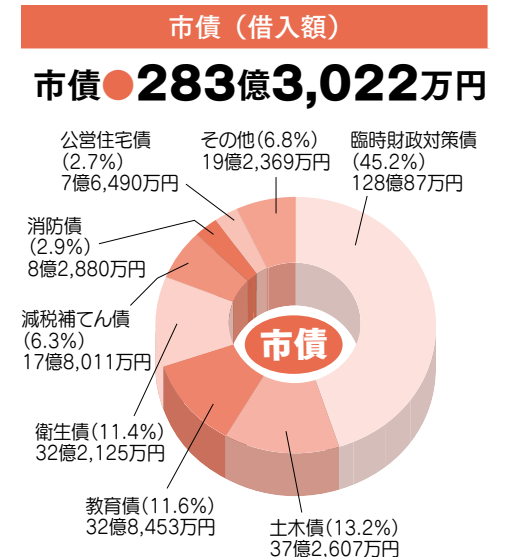
歳出のポイント

前年度新たに基金（まちづくり振興基金）を造成する際、その積立金の財源とした地方債の一括償還に伴う公債費の増加や、生活保護費やこども手当支給費をはじめとする民生費の増加などがありました。

主な新規事業
 ・花園公民館建設事業
 老朽化した公民館の建て替え（平成23年度は建築設計を実施）
 決算額：1億 570 万円
 ・医師確保推進事業
 医師育成のための奨学金の貸与
 決算額：2,351 万円



公有財産	
行政財産	土地：2,881,708㎡ 建物：380,027㎡
普通財産	土地：278,844㎡ 建物：21,274㎡
物権（地上権）	495㎡
有価証券（テレビ埼玉株券ほか）	2,875万円
出資による権利	39億 625万円
債権	
貸付金	1億8,931万円
基金	
行政振興基金など	151億2,528万円



平成23年度決算状況

市では、予算の執行状況や決算について公表し、皆さんが納めた税金などがどのように使われているのかをお知らせしています。今回は、平成23年度の決算概要をお伝えします。
 問い合わせ 財政課 (0574-00000)